

令和3年度 5歳児 「運動会リズム表現」

(令和3年度実践前修正箇所を斜体
実践後修正箇所を囲み文字にて示す。)

1. 期間 9月～10月

2. 設定の理由

一つのお話をテーマにし、様々な登場人物になって学年集団で取り組む運動会リズム表現を、3歳と4歳で2回経験してきている。様々な登場人物になることで、なりきって遊ぶことを楽しんだり、具体的な場面を思い浮かべながら、動き方や話し方などを考えて身体で表現することを楽しみ、登場人物の気持ちを感じたりしてきている。また、いろいろな動きを通して身体を動かす楽しさや心地よさを味わったり、運動用具を使って、できるようになりたい、上手になりたいなどの気持ちをもって挑戦したりすることを経験してきている。さらに、5歳児がブリッジや側転、カエルの足打ち等、様々な動きに挑戦してきた成果を見る機会を作り、5歳児に対する憧れの気持ちをもったり、一緒にしてみる機会を作り、自分達もできるようになりたいと期待したりしている。このような経験をしてきているため、運動会の話をすると、「ブリッジできるよ。」「側転やってみたい。」などの声が聞かれる。

5歳1学期の間、好きな遊びをする中でいろいろなごっこ遊びをし、いろいろな役になりきって遊ぶ姿が見られている。~~また、学級集団でごっこ遊びを作っていくことも楽しんできている。~~また、園庭の遊具や一輪車・竹馬などの運動用具をやってみようと挑戦する姿が多く見られている。

運動会で取り組むリズム表現の中で、発達に応じた様々な動きに挑戦し、少し難しいことができるようになっていくことで、子どもの達成感から自信をもち、さらに次の目標に向かって挑戦していこうとする意欲を育むことができる。物語は、自分たちでイメージを膨らませて作り出す余地をつくっておくことで、様々な登場人物の気持ちを考えて、より深く心情を理解することにつながり、自分達が作り上げたという実感を伴うことができる。リズム表現の様々な場面で、子どもが考えて作り出す機会を保障したい。

そこで、5歳児のリズム表現では、是非今の時期に挑戦させたい動きかつ挑戦したいと思う動きを提示し、子どもの挑戦したい気持ちを刺激し、できるようになりたいと決めた動きについては諦めずにやり遂げるところまで支えていく。そして、物語については、様々な生き物が生活する世界で、その違いや特徴に触れ、いろいろな個性があることやその素晴らしさを感じたり、仲間ができる嬉しさや共に過ごす嬉しさを感じたり、仲間のために力を合わせて助け合いたいと感じたりするものを選んでいく。登場する生き物になりきって登場する生き物の気持ちを感じたり、学年のみんなで話をし、自分達でイメージを膨らませたり、登場人物の動きや物語の展開に合わせて、挑戦しているブリッジや側転、カエルの足うち跳び箱などの運動を取り入れる場面を決めたりして、学年のリズム表現を作りあげていきたい。さらに、少人数の友達と表現やダンス等をつくることを通して、一緒に動きを考えたり決めたりし、より自分達で作り出す満足感を味わえるようにしたい。

3. ねらい

- ① ブリッジや、側転、カエルの足うち、跳び箱等ができるようになりたい、もっとうまくできるようになりたい、皆でお話を素敵なものにしたい、お家の人に頑張りを見てもらいたいなどと目標をもち、そのためにどうすればよいか考え続け、繰り返し挑戦しようとする。

自ら決める・選ぶ
問題を認識する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する
- ② 自分の考えたことやできるようになったこと、上手になっていること、友達と一緒に遊び方や動き方を考えたことから、前とは違う自分を感じて自信をもったり、頑張ったことややり遂げたことに満足したりする。

自分に満足する
自分を客観的に把握する
- ③ 自分の思い通りにしたい、うまくいなくて悔しいなどの自分の気持ちを、友達の気持ちや様子を感じたり、友達や先生に励まされたり、先生から周りの状況を知らされたりして、切り替えようとしたり、納得のいくところに落ち着けようとしたりする。

気持ちをコントロールする
- ④ 保護者や年少児、年中児の友達に、頑張っている自分を見てもらうためにどう取り組んだらよいかを考え、その姿に近付こうとする。
年長である自分を意識したり、友達や先生の行動や話から振り返ったりして、自分のしたことのよしあしからどう取り組んだらよいか考え、その姿に近付こうとする。

よりよい自分に向かう
問題を認識する
豊かに発想し、追及の手立てを構想する
自分を客観的に把握する
問題を認識する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する
他者という喜びを感じる
- ⑤ 教えてくれる友達や応援してくれる友達の存在を感じ、助けてくれる友達と一緒に練習する友達がいる嬉しさを感じる。
- ⑥ 友達と一緒にあって、できるようになったことやうまくいったことを喜んだり、うまくいかずに悔しがったりし、仲間とのつながりを感じる。
- ⑦ みんなでお話の世界をつくり出したり、グループの友達と踊りをつくり出したり動きを合わせて踊ったりする楽しさを感じる。
- ⑧ 友達の様子を見て、分からないことを教えてあげようとしたり、したいことが思うようにできず困っている友達を見て自分が感じているコツを教えたり、挑戦している友達を励ましたりしようとする。
- ⑨ 友達の表現や頑張りに対して感じたことを伝えたり、お話や表現、ダンスをよくするために考えたことを、相手に伝わるように身振り手振りを交えたりして伝えようとする。
お話に登場する生き物の特徴を捉えた動きや感情がこもった表現、かっこいい動きを素敵だと思ったり、できなかったことに繰り返し取り組み、できるようになった友達の頑張りを褒めたりする。
お話を素敵なものにするために、自分ができるところを見付けてしようとする。
友達と一緒にする表現やダンスを考えたり、一緒に決めた動きで友達の動きと合わせて動こうとしたりする。

他者のことを考えて行動する
自分のことを伝える
他者を賞賛する
- ⑩ お話やダンスを素敵なものにするために、自分ができるところを見付けてしようとしたり、お話の展開や場の使い方、表現の仕方等を友達と一緒に考えたり、試して振り返ったり、決めたりしようとする。

人と協力・共同する
問題を認識する
豊かに発想し、追及の手立てを構想する
人とのことをすすめる
問題を認識する
豊かに発想し、追及の手立てを構想する
実行し、結果をもとに判断を下す
身を守る
- ⑪ バランスを崩したり勢いがついたりして倒れたときに痛くないように、跳び箱や側転等はクッションになる芝生やマットでしよう場所を選ぶ。
- ⑫ 足洗い場のコンクリートやライオンの像、友達にぶつかって痛い思いをしたり、友達に痛い思いをさせたりしないように、側転や跳び箱をする時は、広い空間を見付けたり、向きを揃えたりしようとする。
- ⑬ ブリッジや側転、カエルの足うち、跳び箱をして、手のつき方や勢いのつけ方、身体の支え方、力の入れ方をいろいろ試したり、コツをつかんだりする。
- ⑭ カエルの足うちの練習を繰り返し、顔の向きや足を振り上げる逆さになる感覚、腕で身体を支える感覚をつかむ。
- ⑮ ブリッジや側転、片足クマ等をして、身体が反る感覚や頭が下になる感覚、回転する感覚を感じる。
- ⑯ 水平に手足を大きく伸ばして、身体の傾きを調節したり、軸足で踏ん張ったりしてバランスをとり続けようとする。
- ⑰ いろいろな言い回しの表現を感じたり、イメージを膨らませていろいろな生き物が住む海の世界の情景を思い浮かべたり、展開を楽しんだりする。また、いろいろな性格や特徴をもった他の素晴らしさを感じたり、そのよさを認める気持ち、仲間ができる嬉しさや共に過ごす楽しさを感じたり、仲間のために力を合わせて助け合いたいと感じたりする登場する生き物の気持ちを感じ取ったり考えたりしようとする。

文芸に表す
- ⑱ 魚やエビ、カニ、タコ、イソギンチャクなど登場する生き物の気持ちや性格、生態、状況から動き方や話し方、表現の仕方を考えたり友達の表現を見たりしながら、表現することを楽しむ。

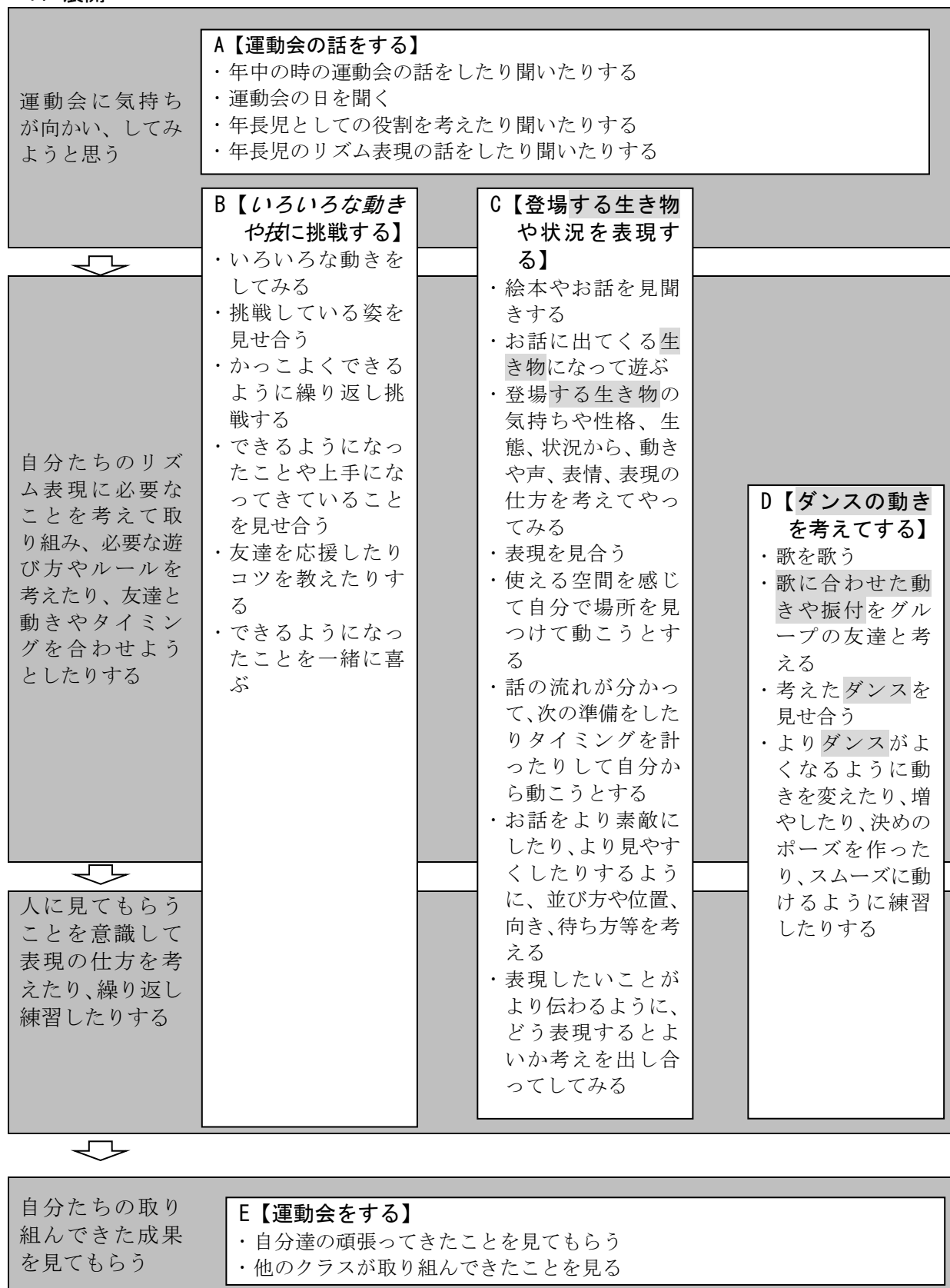
身体の動きに表す
関連付ける
問題を認識する
豊かに発想し、追及の手立てを構想する
- ⑲ ピアノのリズムやテンポを感じ、それに合わせて素早くやゆっくり走る、高く跳ぶ、さっと止まる、はずむようにギャロップやスキップをする、やわらかく動くなどすることを楽しむ。
- ⑳ 歌詞やリズムから広げたイメージを動きで表現することを楽しむ。
- ㉑ 自分達のお話や表現をより素敵なものにしようとしたり、お客さんに見てもらうことを意識したりして、並び方や向き、待ったり出たりする位置や待ち方等を考えようとする。

演出に表す
問題を認識する
豊かに発想し、追及の手立てを構想する

- ② したい表現に適当な人数を考えるなど、数を使って考えたり判断したりしようとする。
- ③ 友達との距離や位置を考えて並んだり、円になったり、広い場所を見付けて自分の場所を決めたり、逃げたり追ったりしようとする。

数・量をとらえる
比較する
空間をとらえる
比較する

4. 展開



A【運動会のお話をする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・ 年中の時の運動会のお話をしたり聞いたりする ・ 運動会の日を聞く ・ 年長児としての役割を考えたり聞いたりする ・ 年長児のリズム表現のお話をしたり聞いたりする	○年長児 である自分を意識として運動会にどう取り組むかを考える④ ○運動会で挑戦したい技を出し合い、やってみようと思う①	◎運動会で取り組んできたことや、自分達が見てきた年長児のことを思い出せるように、年少・年中の時にしてきたことや、年長児がしていたことを尋ねる ◎年長児 である自分を意識としてどのように取り組んだらよいかを考え、自分達もしてみようと思えるように、これまでの年長児もできなかった難しい技に挑戦してきて全員できるように頑張っていたことや、自分達でいろいろな事を考えてリズム表現を作ってきたことを伝える ◎ブリッジやカエルの足うち、側転、跳び箱など自分の挑戦したい技に挑戦しようと思えるように、昨年来年を振り返り、挑戦したい技を尋ね、頑張れば必ず出来るようになることや不安な子どもには教師も一緒に練習することを伝える。

B【いろいろな動きや技に挑戦する】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・ いろいろな動きをしてみる ・ 挑戦している姿を見せ合う ・ かっこよくできるように繰り返し挑戦する ・ できるようになったことや上手になってきていることを見せ合う ・ 友達を応援したりコツを教えたりする ・ できるようになったことを一緒に喜ぶ	○ブリッジやカエルの足うち、側転、跳び箱などができるようになりたい、もっとうまくできるようになりたいなどと目標を持ち、繰り返し挑戦する① ○できるようになったことや上手になっていることを先生や友達に見てもらったり褒めてもらったりし、前とは違う自分を感じて自信をもったり、頑張ったことに満足したりする② ○うまくいなくて悔しい気持ちを、友達や先生に励まされたり、できるようになりたい自分の気持ちを振り返ったりして切り替え立て直そうとする③ ○教えてくれる友達や応援してくれる友達の存在を感じ、助けてくれる友達と一緒に練習する友達がいる嬉しさを感じる⑤ ○できるようになったことを一緒に喜び、仲間とのつながりを感じる⑥ ○したいことが思うように出来なくて困っている友達を見て自分が感じているコツを教えたり、挑戦している友達を励ましたりしようとする⑧ ○かっこよく動いていること（ブリッジやカエルの足うち、側転、跳び箱など）をすごいと思って伝えたり、できなかったことに繰り返し取り組み、できるようになった友達の頑張りを褒めたり、できるようになったことを	◎挑戦してみよう、こんな風にできるようになりたいと思えるように、して見せたり、友達がする姿を見せたり、目標を聞いたりする ◎うまくいなくても、もう少ししてみよう、諦めずにしてみようと思えるように、励ましたり、どうしたらいいのか一緒に考えたり、頑張っている友達の姿を見せたりする ◎できるようになった、上手になったと感じ、前とは違う自分に満足できるように、頑張りを認めたり、動画を撮って以前と動きを比較したり、前とは違うところを具体的に褒めたり、一緒に喜んだりする ◎うまくいけない悔しい気持ちを立て直して挑戦しようと思えるように、友達の励ます声に気づかせたり、何度も頑張っている気持ちを認めたり、必ずできるようになると励ましたりする ◎助けてくれる友達と一緒に練習する友達がいる嬉しさを感じられるように、応援してくれている友達や傍で頑張っている友達の存在を知らせる ◎仲間とのつながりを感じながら練習できるように、誘って集まってできるようにしたり、できるようになったことを一緒に喜んで周りに知らせたりする ◎したいことが思うようにできなくて困っている友達のために、自分ができるところをしようと思えるように、困っている友達を知らせたり、何かいい考えはないか尋ねたりする ◎かっこよくできる友達を素敵だと思えるように、かっこよくできる友達を知らせ、素敵だと思うところを具体的に褒めたり驚いたりする ◎友達の頑張りを褒めたり、できるようになったことを一緒に喜んだりできるように、周りの友達に、できるようになりたいと思って頑張っている姿を見せ

	一緒に喜んだりする⑨ ○バランスを崩したり勢いがついたりして倒れたときに痛くないように、側転やカエルの足うち逆立ちや馬跳びはクッションになる芝生やマットでしようと場所を選ぶ⑪ ○足洗い場のコンクリートや大芝生のライオン像や友達にぶつかって痛い思いをしたり、友達に痛い思いをさせたりしないように、側転や跳び箱をする時は、広い空間を見付けたり、向きを揃えたりする⑫ ○ブリッジや側転、カエルの足うち跳び箱をして、手のつき方や勢いのつけ方、身体の支え方、力の入れ方や抜き方をいろいろ試したり、コツをつかんだりする⑬ ○カエルの足うちの練習を繰り返し、顔の向きや足を振り上げる逆さになる感覚、腕で身体を支える感覚をつかむ⑭ ○ブリッジや側転、片足クマ等をして、身体が反る感覚や頭が下になる感覚、回転する感覚を感じる⑮ ○大きく水平に手足を伸ばして、身体の傾きを調節したり、軸足裏で踏ん張ったりしてバランスをとり続けようとする⑯ ○見てもらうことを意識して、用意や終わりのポーズ、する場所や向きを考えてしようとする⑰⑱ ○広い芝生や道アンツーカーの上で、広い場所を見付けて自分の場所をとり、空間を意識して行動しようとする⑳㉑㉒	たり、前と比べてよくなっているところや頑張ってきたことを知らせたり、できるようになったことを知らせて見せたりする ◎安全に側転やカエルの足うち逆立ちや馬跳びをするためにはどうしたらよいかを考えられるように、どんな危ないことがあるか、危ないことに対してどうしたらよいかを尋ねる ◎側転や跳び箱をするときに、広い空間があるかどうか確かめられるように、十分な場所があるか尋ねる ◎側転をするときに向きを考えられるように、進む方向やそのまま進むとどうなるか尋ねる ◎手のつき方や勢いのつけ方、身体の支え方、力の入れ方や抜き方をいろいろに試せるように、友達のやり方を見せたり、教師もやって見せたりする ◎手のつき方や勢いのつけ方、身体の支え方、力の入れ方や抜き方のコツをつかめるように、コツをつかんでいる友達に感じているコツを尋ねて聞かせたり、教師の感じているコツを知らせたり、身体を支えて感じ取らせたりする ◎腕に体重を乗せて体を支える感覚を感じられるように、腕をついたまま前に跳ぶカエルジャンプをするよう勧め、慣れてくれば遠くに手をつくことや手より足を前に出すことを提案する ◎顔の向き（見る場所）をつかめるように、見る場所を分かるように見せて示したり、友達の顔の向きを見せたりする ◎腕で身体を支える感覚をつかめるように、手をしっかり開いて踏ん張っていることや肘がしっかり伸びていることを言葉にして伝え意識させたり、友達の支え方を見せたりする ◎足を振り上げる感覚をつかめるように、よく足が上がったときの振り上げ方を褒めたり、友達の足の蹴り上げ方を見せたりする ◎足を伸ばして揃えるタイミングをつかめるように、伸ばして揃えるタイミングで声をかけたり、友達の足を伸ばして揃えるタイミングを見せたりする ◎回転する感覚や身体が反る感覚、頭が下になる感覚を感じられるように、足やお尻をしっかり上げるように声をかけたり、身体で支えて上げたりする ◎大きく水平に手足を伸ばしてバランスをとる感覚がつかめるように、教師や友達の綺麗なポーズを見せたり、手足を支えて形を作ったりして、ポーズのイメージをはっきりともたせ、お話の登場人物の動きとして取り入れ、繰り返し挑戦する機会を設けて長く続けられるように励ます ◎見てもらうことを意識して、用意や終わりのポーズ、する場所や向きを考えられるように、おうちの人が見てくれる場所を伝えたり、見ていて感じたことを伝えたりする ◎空間を意識して動けるように、友達や物と十分離れているか尋ねたり、周りを見て場所を決めていることを褒めたりする
--	--	--

C【登場人物や状況を表現する】

予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・絵本を見たり、お話を聞いたりする ・お話に出てくる登場人物になって遊ぶ ・登場する生き物の気持ちや性格、生態から、動きや声、表情を考えてしてみる ・友達と表現を見合う ・使える空間を感じて自分で場所を見つけて動くとする ・話の流れが分かって、次の準備をしたりタイミングを計ったりして自分から動くとする ・お話をより素敵にしたり、より見やすくしたりするように、並び方や位置、向き、待ち方等を考える	○皆でお話を素敵なものにしたいと思い、そのためにどうすればよいか考え続けようとする① ○自分の考えたことや自分や友達と一緒に考えた遊び方や動き方を先生や友達に見てもらったり褒めてもらったりし、前とは違う自分を感じて自信をもつ② ○自分の思い通りにしたい気持ちを、友達の気持ちや様子を感じたり先生から周りの状況を知らされたりして、切り替えようとしたり、納得のいくところに落ち着けようとしたりする③ ○年長児として保護者や年少児、年中児の友達に頑張っている自分を見てもらうために年長である自分を意識したり、友達や先生の行動や話から振り返ったりして、自分のしたことのよしあしから、どう取り組んだらよいかを考え、その姿に近づこうとする④ ○お話の内容を意識し、みんなでお話の世界をつくりあげ、一緒にやっていく楽しさを感じる⑦ ○友達の生き物の特徴を捉えた動きや感情がこもった表現を素敵だと思っ見て、感じたことを伝えたり、お話や表現、ダンスをよくするために考えたことを相手に伝わるように身振り手振りを交えたりして伝えようとする⑨ ○お話を素敵なものにするために、自分ができるところを見つけてしようとしたり、お話の展開や場の使い方、表現の仕方等を友達と一緒に考えたり、試して振り返ったり、決めたりしようとする⑩ ○絵本を見たり、お話を聞いたりして、登場する生き物の気持ちを感じる⑬	◎皆でお話を素敵なものにしたいと思うように、どんなお話やリズム表現にしたいか必要に応じて尋ねる ◎自分の考えたことや友達と一緒に考えたことに前とは違う自分を感じて自信をもてるように、以前の考えと比較してよいと感じている点や変わった所を具体的に褒めたり、驚いたりする ◎自分の思い通りにしたい気持ちを切り替えたり、納得のいくところに落ち着けようとしたりするように、自分の振る舞いによる友達の様子を見せたり聞かせたり、周りの状況を知らせたりする ◎年長児である自分を意識して取り組めるように、考えて動いている姿を褒めたり、ふざけているときは自分の行動を振り返らせたりする ◎みんなで話し合いながらお話の世界をつくっていくように、考えたことを出し合う場をもち、考えのよさを認めて取り入れたり、友達の考えに対してこうした方がいい、これを加えた方がいいなど、いろいろな意見がないか尋ねながら場面や動き、隊形、流れをつくっていくたりする ◎友達の考えたことや表現を見て、友達の考えの面白さやよさなど感じたことや、自分の考えたことを伝えられるように、友達の考えたことを見せる場や自分の考えを伝える場をもつ ◎自分ができるところを見つけてしようと思えるように、気付いたことから考えを話したり、次の動きを率先して行ったりする等の姿を逃さず、その姿がお話を素敵なものにすることにどうよいと感じたか具体的に褒める ◎友達と一緒にお話を素敵なものにしようと考えられるように、お話の展開や場の使い方、かけ声を出す等のアイデアが必要な場面で話し合いの場をもち、どうするか尋ねる ◎考えたことを試して振り返り決めることができるように、考えを試すことを提案したり、試す様子を撮影して動画や静止画を見せたり、試してみてどうだったか尋ねたりする。 ◎登場する生き物の気持ちを感じられるように、心情が強く表れている部分は、その気持ちを感じるために理解しておかなければならない言葉をゆっくりはっきりと読んだり、心情を表す言葉や情景での比喩表現はその心情に合った声色や声の調子で読んだりする

	○登場する生き物の気持ちや生態、状況から、動き方や話し方、表現の仕方を考えたり、友達の動き方からヒントをもらったりしながら、表現することを楽しむ¹⁸ ○ピアノのリズムやテンポを感じ、それに合わせて高く跳ぶ、さっと止まる、はずむようにギャロップやスキップをする、やわらかく動くなどすることを楽しむ¹⁹ ○自分達のお話や表現をより素敵なものにしようしたり、お客さんに見てもらうことを意識したりして、並び方や向き、待ったり出たりする位置や待ち方等を考えようとする²¹ ○したい表現に適当な人数を考えたり、必要で数えたりして、数を使って判断しようとする²² ○友達との距離や位置を考えて並んだり、円になったり、広い場所を見つけて自分の場所を決めたりしようとする²³	◎イメージを膨らませて話の展開を考えられるように、お話に出てくる言葉から想像できることを話したり、尋ねたりする * 登場する生き物の動きや生活、食べ物などの生態や、海の状況が分かって表現することができるように、生き物や海などが描かれた絵本や図鑑、写真等の掲示を用意しておく ◎ 登場する生き物の生態から動きを思い浮かべてなりきれるように、食事や飛行などの生活場面を切り取ってごっこ遊びをする機会を設ける ◎ 登場する生き物の気持ちや性格、場面設定から表情や動きを考えられるように、事前にどんな場面の何になって遊ぶのか話したり、登場する生き物の背景や性格、状況をお話の中で使われている言葉を使って話しかけたりする ◎ 友達の表現のよさを感じたり考えを取り入れたりできるように、友達の表現を見る場をもち、感じたよさや友達が考えていることを尋ねる ◎ ピアノのリズムやテンポを感じ、それに合わせて動けるように、リズムやテンポに大きく変化をつけたり、その変化を分かりやすく弾き分けたりする ◎ 自分達のお話や表現をより素敵なものにするために並び方や向き等を考えられるように、どのような場面であるかや大切に表現したい気持ちはどのようなことかを尋ねて意識化する ◎ お客さんに見てもらうことを意識して並び方や向き等を考えられるように、自分たちの表現をお客さんの位置から見る機会を設けたり、教師がお客さんになって感じたことを伝えたりする ◎ したい表現に適当な人数を考えたり、必要で数えたりできるように、複数の役が同時に登場しやり取りする場面を設定したり、人数の偏りを咬いたりする。 ◎ 友達との距離や位置を考えて隊形を変えられるように、その隊形で行うことを知らせて必要な距離を考えさせたり、周りを見て位置を考える姿やとっている距離や決めた位置が何のためにどうよいのかを言葉にして褒めたりする
--	--	--

D【ダンスの動きを考えてする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・歌を歌う ・歌に合わせた動きや振付をグループの友達と考える ・考えたダンスを見せ合う ・よりダンスがよくなるように動きを変えたり増やしたり、決めのポーズを作ったり、スムーズに動けるように練習したりする	○自分たちが考えたダンスを見てもらって頑張ったことに満足したり、褒めてもらって自信をもったりする² ○グループの友達と踊りをつくり出したり動きを合わせて踊ったりする楽しさを感じる⁷ ○他のグループの考えたダンスを見て、よいところを見つけて伝えたり褒めたり、考えた友達の素敵だと思った気持ちを伝えたりする⁹	◎自分たちが考えたダンスを見てもらって頑張ったことに満足できるように、作る段階で工夫や苦労したところを言葉にしたり、それに向かった姿勢を褒めたりする ◎グループの友達と踊りをつくり出す楽しさを感じられるように、いろいろな友達が考えた動きが繋がってできてきていることを素敵に思うことを伝える。 ◎グループの友達と動きを合わせて踊る楽しさを感じられるように、動きが合ってきていることや合っていて素敵であることを伝える。 ◎他のグループのダンスを見て、感じたよさを感じられる伝えられるように、グループで考えたダンスを見せ合う機会をもつ ◎他のグループの考えたダンスのよいところを見付けたり、考えた友達の素敵だと思ったりした気持ちを伝えられるできるように、よいところや素敵なところを

	○ 自分の考えたことを友達に伝えたり、友達の考えを聞いたりして、グループの友達と一緒にダンスの動きを考えたり、試して振り返ったり、一緒に決めた動きで友達と合わせて動こうとしたりする⑩ ○ 歌詞やリズムから広げたイメージを動きで表現することを楽しむ⑫ ○ 見てもらうことを意識して、向きや動き方、ポーズなどを考えてしようとする⑫	伝える場がもつことを見合う前に知らせる * 考えを伝え合いながらダンスを作っていけるように、5人程度のグループにする ◎ 友達の考えも聞きながらダンスを作っていけるように、一人の考えで決まっている際には、皆が納得しているか、他児の意見はないか尋ねる ◎ 歌詞やリズムから広げたイメージを動きで表現することを楽しくめるように、動きと歌詞やリズムをどう表現したのか尋ねたり、どう表現されていると感じたか、またその表現のよさを具体的に言葉にしたりする ◎ 見てもらうことを意識して、向きや動き方を考えられるように、お客さんが見てくれる場所や、客席から見て感じたことを伝えたりする
--	---	---

E【運動会をする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・ 自分達の頑張ってきたことを見てもらう	◎ 頑張って取り組んできたことに自信をもち、見てもらいたいところを意識しながら最後まで取り組み、やり遂げた満足感を味わう②	◎ やり遂げた満足感を味わえるように、これまでの頑張りと今日の頑張りを結びつけながら、頑張っていたこと、自信をもってやっていたことを褒める